



県立女子大学の学生による まちづくりへの挑戦

群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部
准教授 安齋 徹

群馬県立女子大学は学生数が約1000名の大学ですが「小さくとも個性のある大学」を目指し、地域貢献や国際化を視野に入れた特色ある教育を行っています。2005年に開設された国際コミュニケーション学部では「英語」と「リーダーシップ」を身につけ世界に羽ばたく女性リーダーの育成を目標にしていますが、「Think Globally, Act Locally」を実践すべく、学生はまちづくりにも様々な形で取り組んでいます。

1. 大学生観光まちづくりコンテスト

観光による国内外の交流人口の拡大や日本独自の文化財・伝統芸能等の文化遺産の活用は、地域経済活性化や雇用機会増大に大きな役割を果たします。そのため観光立国を担う人材の育成が求められ、特に、従来の枠にとられない若者の自由な発想に基づくアイデアが期待されています。このような状況を鑑み、大学生に向けた実践的教育の場として、観光まちづくりを通じた地域活性化プランを競う「大学生観光まちづくりコンテスト」(主催：大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会、後援：観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省など)が毎年開催されています。

安齋ゼミナールでは2013年からこのコンテスト(東日本ステージ)に挑戦しています。2013年は「山梨県富士河口湖町を題材とした訪日外国人に対する観光まちづくりプラン」というテーマに「人旅(ひとたび)～あなたを待つ人がいる～」というプランで応募しました。2014年は「富士河口湖町および笛吹市の双方が活性化するような観光まちづくりプラン」というテーマに「祈りのランタンで富士山の噴火を阻止せよ」というプランで応募しました。いずれも現地でのフィールドワークを通じて、地域住民の意識の向上がポイントと考え、観光客と地域住民が交流できる機会を創出し、そこに学生らしい斬新なアイデアを盛り込みました。

東京の有名大学も多数参加する中、何と2年連続で県立女子大学の安齋ゼミナールの学生が「ポスターセッション最優秀賞」を受賞しました。クリエイティブな企画力と元気あふれるプレゼンテーションが伝統になりつつあります。



2013年



2014年

2. 玉村町との連携

「ビジネス・リーダー論」という授業では毎年地域の課題を取り上げ、受講生がグループで問題解決に取り組んでいます(例：2013年「郷土料理“おつきりこみ”のプロモーション」)。2014年度は玉村町と連携し「名もない町を名もある町に～玉村町を売り出すために、どのような方法が考えられますか～」というテーマに取り組みました。5月に「玉村町の歴史と概要」「玉村町の観光と広報戦略」という出前講座を受講し、6月に玉村八幡宮、北部公園、肉の駅、道の駅予定地、歴史資料館、軍配山古墳などを巡る「玉村ツアー」を実施しました。

2014年7月24日には発表会を開催し、玉村町の町長・副町長・教育長以下約50名の職員の方々の前で、5つのグループが創意工夫を凝らしたプランを発表しました。「花火大会」「道の駅」「たまたん」「バラ(町の花)」「北部公園」の有効活用や、「食べ物」「ランイベント」「レンタサイクル」「カフェ」を使った「まちおこし」プランなど学生らしい幅広い視点と豊かな発想が織り込まれていました。学生からは「地域の魅力を再発見するきっかけになった」「若い世代にこのような機会が与えられたことが嬉しかった」「社会を変えていくことの責任感と重要性を学んだ」という感想が寄せられました。玉村町では一部の提案の事業化も検討しています。



グループ	学生による提案内容
A	玉村江戸祭りの開催、道の駅の活用、たまチャリ
B	ドッカン 夏の大作戦！（花火大会を利用した知名度の向上）
C	たまたんカフェ、北部公園の活性化プロジェクト
D	ハロウィン “たまむRUN”（様々なイベントを開催）
E	玉村にバラ園を！（道の駅付近に町民参加型のバラ園を開設）



3. 社会デザインに向けて

将来の予測が困難な今、我が国が目指すべき社会像を描く知的な構想力が大学に求められています。県立女子大学国際コミュニケーション学部では今年度「社会デザイン論」の授業を開講し、安齋ゼミナールも「社会デザイン論ゼミナール」に改名しました（全国でも「社会デザイン」を冠したゼミナールは稀有な存在です）。ゼミナールでは「社会を変える、ビジネスを創る、自分を磨く」ことを目標に「日本一のゼミを目指そう！」というビジョンを掲げて活発に活動しています（例：東北復興応援チャリティ・リレーマラソン東京2014に参画し、群馬県内で募金活動を実施）。様々な試行錯誤を繰り返しながら、まちづくりを含む「社会デザイン」の営みに参画し、「女性の活躍」と「地方創生」という課題に学生と共に挑んでいきます。



地域の宝を掘り起こす！観光事業支援

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

Salvage



ひのじゃが

チーズドリア

- ・観光事業支援
- ・観光協会運営支援
- ・特産品を活かした商品、メニュー開発
- ・ご当地グルメ開発
- ・店舗運営支援 他

ひのじゃがカフェFBページ




おいねめし(榎原村で購)FB

* 東京都榎原村「ひのじゃがカフェ」で開発、特産品を活用した「ひのじゃがチーズドリア」

The creation of new Hometown

新しいふるさとの創造



建設コンサルタント
株式会社 高崎測量

〒370-0002 高崎市日高町580番地
TEL 027-361-2271 (代表)
FAX 027-363-4743
URL www.takasoku.co.jp
E-mail tk-mail@takasoku.co.jp

- ・都市計画
- ・測量調査
- ・土木設計
- ・建物補償

